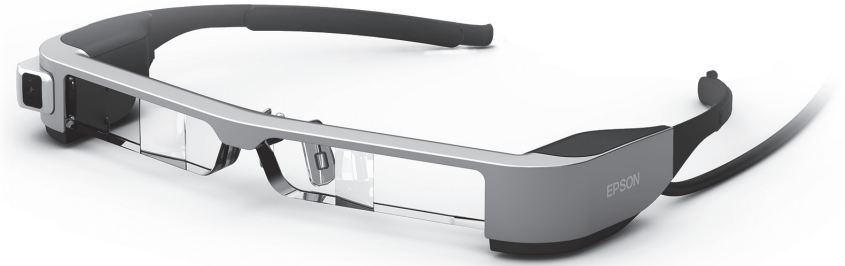
Smart Glasses

MOVERIO

BT-30E

EPSON
EXCEED YOUR VISION

ユーザーズガイド



© Seiko Epson Corporation 2018. All rights reserved.
2018.10

Web サイトのご案内

技術情報を提供しています。

https://tech.moverio.epson.com/ja/bt-35e/

目次

安全にお使いいただくために 4
使用上のご注意 9
同梱品一覧.....10
各部の名称と働き 11
インターフェイスボックス 11
ヘッドセット 12
インターフェイスボックスと外部機器の接続方法.13
入力と出力について 13
HDMI で接続する 14
USB Type-C で接続する 15
電源を入れる / 映像を表示する 17
スタンバイモードと AV ミュート 18
拡張機能について 19
ヘッドセットを装着する.....21
めがねの上から装着する.....22
シェードの取り付け / 取り外し 23
ベルトクリップ / ケーブルリテーナーの使い方 ...24
対応機器とソフトウェアサポートについて 26
ファームウェアのアップデート 27
メンテナンス.....28
困ったときに.....29
仕様一覧.....30
製品仕様.....30
映像入力.....31
電源.....31
知的財産権について 32
一般のご注意.....33
安全規格対応シンボルマークと説明 34
ご相談窓口.....36

取扱説明書の構成

ユーザーズガイド（本書）	本機を安全にお使いいただくためのお願い、基本的な操作方法、困ったときの対処方法などについて、説明しています。本機をお使いいただく前に、必ずお読みください。
スタートガイド	本機をはじめて使うときの手順を説明しています。

本文中の記号について

■安全に関する表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■一般情報に関する表示

	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
[ ]	インターフェイスボックスのボタンとキーを示しています。

	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
➡	関連事項を説明している参照先を示しています。

安全にお使いいただくために

ご使用の際は、必ず同梱のマニュアル類をよくお読みのうえ、正しくお使いください。マニュアル類は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

⚠ 警告　使用環境や使用条件に関する警告

表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

AC アダプター、給電専用 USB ケーブルは必ず同梱品をお使いください。同梱品以外のものを使用すると、発熱、発火、破裂、故障、漏液の原因となります。

AC アダプターの取り扱いには注意してください。火災、感電事故のおそれがあります。

- たこ足配線はしない
- AC アダプターはほこりなどの異物が付着したまま差し込まない
- AC アダプターは根元まで確実に差し込む
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
- AC アダプターを布などで覆ったり、包んだりしない
- 火やストーブ、電熱器の近くで使用しない

破損した AC アダプター、給電専用 USB ケーブル、USB Type-C ケーブルは使用しないでください。火災、感電事故のおそれがあります。

本機をご使用にならないときは、安全のため、電源を供給するケーブルを抜いてください。絶縁劣化や、感電、火災、故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグにさわらないでください。火災、感電事故のおそれがあります。

熱帯環境下、窓を閉め切った自動車の中、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、動作温度範囲を超えた環境で本機を使用、放置しないでください。また、急激な温度変化も避けてください。火災、故障、誤動作、破損のおそれがあります。

本機には防水性能はありません。濡れた手で、AC アダプターや各接続端子のコネクターおよびケーブルに触れないでください。火災・やけど・感電事故のおそれがあります。

風呂・シャワー室など、水のかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で本機を使用、放置しないでください。火災、感電事故のおそれがあります。

湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に本機を置かないでください。火災、感電事故、映像の品質低下のおそれがあります。

布などで覆った状態で使用しないでください。熱によるケースの変形や、火災のおそれがあります。

動作中のインターフェイスボックスに長時間触れないでください。ポケットに入れたり、衣服の上からであっても、長時間皮膚に接触していると低温やけどのおそれがあります。

カメラレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火、破裂、火災の原因となります。

⚠ 警告　製品の使用に関する警告

はじめから音量を上げすぎないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

外部接続端子のコネクターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないでください。また、コネクターは接続する端子に対して真っ直ぐに奥まで差し込んでください。不完全な接続、誤った接続の場合、火災、やけど、感電事故のおそれがあります。

USB-C 端子や HDMI 端子に接続するケーブル類は正規認証品を使用してください。正規認証品ではないケーブルを使用した場合、誤配線などにより、火災、やけど、感電事故、機器の破損のおそれがあります。

外部接続端子、イヤフォンマイク端子に導電性異物が触れたり、接続部の内部に導電性異物が入ったりしないようにしてください。端子がショートして、火災や故障の原因となることがあります。

本機の樹脂カバーにアルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤を付着させないでください。また、お手入れの際は濡れた布や有機溶剤を使用しないでください。樹脂カバーが変形・溶解して、感電、故障、火災のおそれがあります。

サービスマン以外の方は、本機のケースを開けないでください。また、本機（消耗品を含む）の分解や改造は絶対にしないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災、感電、事故、けが、中毒の原因となります。

本機のレンズに強い衝撃を与えたり、硬いものと接触させたりしないでください。レンズが傷ついたり破損したりして、レンズの破片で目や顔に重傷を負うおそれがあります。

本機を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。また、ろうそくなど火が発生しているものを本機の上に置かないでください。発火、破裂、火災の原因となります。

＜本機を医療向けの用途で使用する場合＞

1) 本機は、医療品・医療機器等法で定める医療機器の認定を受けたものではありません。医療機器に付帯しているメインモニターに対する補助用モニターとしてご使用いただき、高い信頼性を求められる手術や診断画像の判定等には使用しないでください。
2) 本機は、IEC60601-1 規格の認証を取得しておりません。本機を医療のシステムへ組み込む際には、システム全体として規格要求に適合する必要があります。

＜本機をドローン用途で使用する場合＞

- BT-30E の使用環境、使用方法等によって、BT-30E の誤動作または誤操作等が生じる可能性があります。当社は、BT-30E およびドローンの使用に起因して生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ドローン操作中に BT-30E を使用する場合は、安全のため以下のことを守ってください。
  - ドローンの操作および飛行の方法に関する関係法令、規制等を順守し、飛行禁止空域でドローンを飛行させないでください。
  - ドローンの飛行中は必ずドローンおよびその周囲の状況を目視により常に監視し続けてください。

- ドローン本体に付属する取扱説明書、ユーザーガイド、ガイドラインその他すべての安全上の注意事項を順守してください。
- BT-30E 装着時の視界・視認性には個人差があります。必ず事前に使用環境下で周囲の安全を確保できることを確認してから使用してください。

⚠ 警告　映像の視聴に関する警告

自動車・バイク・自転車の運転、その他危険な作業を行うときは絶対に装着しないでください。事故やけがの原因となります。

足元の不安定な場所（階段、高所）では本機を使用しないでください。また、危険な場所（ケーブルが巻き込まれるおそれのある機械・設備の近く、多数の車両や人が往来する場所、暗い場所）では、歩行しながら使用しないでください。危険回避が阻害される可能性があり、事故やけがの原因となります。

本機の画面を見ながら歩行するときは、周囲の安全に十分配慮してください。事故、転倒、転落、歩行者との衝突によるけがにご注意ください。

薄暗い場所では映像が明るく見えるため周囲の環境が見えにくくなります。周囲の安全に十分配慮してください。

狭い場所で本機を使用するときは、他の人や障害物に十分配慮してください。

シェードの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。目に重傷を負ったり、失明にいたるおそれがあります。

本機を装着するときは、ケーブルが周囲のものに引っかかったり、挟まったりしないようにしてください。また、ケーブルが首に巻きつかないようにしてください。事故やけがの原因となります。

ケーブルが破損しないようにしてください。火災や感電の原因となります。

- ケーブルを傷つけない
- ケーブルの上に重いものを載せない
- ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 電熱器の近くに配線しない

⚠ 警告　製品の異常に関する警告

次のような異常のときは、電源を供給するケーブルを抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする
- 本機の内部に水や飲み物、異物が入った
- 本機を落としたり、ケースを破損したりした

⚠ 注意　使用環境や使用条件に関する注意

振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。

本機で映像の視聴、ゲーム、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認し、周囲に壊れやすい物を置かないでください。映像を実際の物と間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因となることがあります。

高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。故障や誤動作、破損のおそれがあります。

お手入れの際には、電源を供給するケーブルを抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。感電の原因となります。

⚠ 注意　製品の使用に関する注意

本機を装着したときに肌に触れる部分（顔など）に、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、皮膚科の医師の診療を受けてください。

本機を使用しているときに汗をかいたら、顔や本機に付着した汗を拭いてください。そのまま使用を続けると、かゆみ、かぶれなどの原因となるおそれがあります。

USB-C 端子および HDMI 端子をご使用の際は、安全のため、変換アダプターや延長ケーブルを使用しないでください。

インターフェイスボックスはしっかり保持するか、安定した場所に置いてケーブル類に負荷がかからないように使用してください。

廃棄するときは、地域の回収ルールに従ってください。

⚠ 注意　映像の視聴に関する注意

本機で映像を視聴するときは、定期的に適度な休憩をとってください。長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。視聴中に疲労感、不快感などの異常や体調の変化を感じた場合に、休憩をとっても疲労感、不快感がとれないときは、使用を中止してください。

本機を落としたり、力を加えたりしないでください。また、落下などの強い衝撃により本機が破損したときはご使用をおやめください。ガラス部分などが破損してけがの原因となることがあります。

本機を装着するときは、フレームの先端にご注意ください。また、可動部に指を挟まないようにしてください。けがの原因となることがあります。

本機は正しく装着してください。映像が正しく見えていない状態で無理に視聴を続けると、体調不良を起こすおそれがあります。

同梱のマニュアル類に記載された使用目的以外に本機を使用しないでください。けがの原因となることがあります。

本機に異常・故障が発生したときは直ちに使用を中止してください。けがや体調不良を起こすおそれがあります。

ヘッドセットのフレームが肌に触れる部分に、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異常があらわれたときは使用をやめ、皮膚科の医師の診察を受けてください。ごくまれに塗料や材質がアレルギーの原因となることがあります。

3D 映像の見え方には個人差があります。違和感を感じたり、立体に見えなかったりするときは、3D 機能のご使用をお控えください。そのまま使用すると体調不良の原因となることがあります。

6 歳以下のお子様は、視覚が発達段階にあるため本機を使用しないでください。
7 歳以上のお子様が使用するときは、長時間の利用は避け、保護者が付き添ってお子様の体調や目の疲れに十分注意してください。

光過敏症の既往症のある方、体調不良の方は本機を使用しないでください。症状悪化の原因となることがあります。

眼に疾患や障害のある方は本機を使用しないでください。斜視、弱視、不同視などの症状が悪化するおそれがあります。

本機をご使用の際は、事前に使用環境下で目的の用途に使用できることをお客様の責任において十分ご確認ください。

使用上のご注意

本機の表示パネルの Si-OLED（有機 EL パネル）は、一般的にその特性上、焼き付き、輝度劣化などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご承知の上で本機をご使用ください。

焼き付きを軽減する方法

- 同じ画面を長時間表示しないでください。
- 常時表示される文字表示やマーカー表示を消してください。
- ディスプレイの輝度を下げてください。
- 長時間使用しないときは、電源を供給するケーブルを抜いて電源を切ってください。

IEC60950-1 A2 対応安全規格対応シンボルマーク

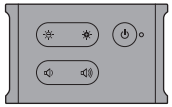
製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

対応規格 : IEC60417 No.5031
説　　明 : 直流
直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。

同梱品一覧

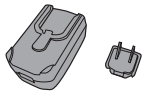
ヘッドセット

➡「ヘッドセット」12 ページ



インターフェイスボックス

➡「インターフェイスボックス」11 ページ



AC アダプター

プラグ・アタッチメント

➡「入力と出力について」13 ページ

給電専用 USB ケーブル

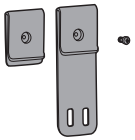
➡「入力と出力について」13 ページ

シェード

➡「シェードの取り付け / 取り外し」23 ページ

テンプルラバー

➡「ヘッドセットを装着する」21 ページ

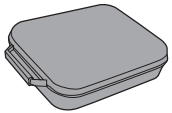


ベルトクリップ

ケーブルリテーナー（保持具）

取付用ネジ

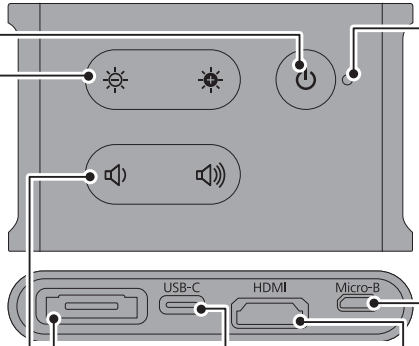
➡「ベルトクリップ / ケーブルリテーナーの使い方」24 ページ



キャリングケース

* 防水性能はありません。

インターフェイスボックス



［⏻］（スタンバイ）ボタン

スタンバイモード、AV ミュートの設定と解除を行い、映像の表示 / 非表示を切り替えます。

➡「スタンバイモードと AV ミュート」18 ページ

［☼- / ☼+］（明るさ調整）キー

明るさを 0 ～ 20 の範囲で 1 段階ずつ調整します。長押しすると、押し続けている間、明るさが増減します。

［🔉 / 🔊］（音量）キー

音量を 0 ～ 15 の範囲で 1 段階ずつ調整します。長押しすると、押し続けている間、音量が増減します。

ヘッドセットコネクター

ヘッドセットと接続します。

➡「HDMI で接続する」14 ページ
➡「USB Type-C で接続する」15 ページ

USB-C 端子

USB Type-C に対応した外部機器と接続します。
接続機器からは、映像信号入力と電源供給が行えます。
また、ヘッドセットのカメラデータ、センサーデータを接続機器に出力できます。

➡「USB Type-C で接続する」15 ページ

LED インジケーター

本機の状態をお知らせします。

オレンジ 点灯	スタンバイモード
青 点滅	映像信号未検出
青 点灯	映像表示中
青 点滅（遅）	AV ミュート中
オレンジ 点滅	エラー状態

Micro-B 端子

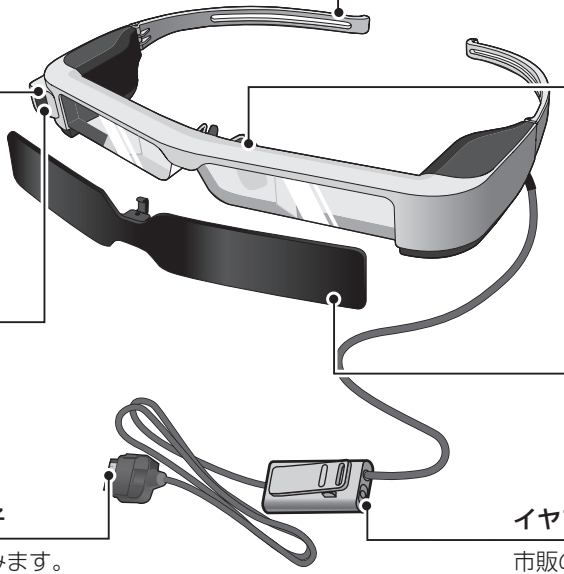
電源入力専用の端子です。
（本端子を用いたデータ通信はできません）

HDMI 端子

HDMI に対応したビデオ機器やパソコンの映像信号を入力します。

➡「HDMI で接続する」14 ページ

ヘッドセット



テンプル

両側に開いて頭にかけます。

➡「ヘッドセットを装着する」21 ページ

照度センサー

周囲の明るさを感知して、画面の明るさを自動で切り替えます。

ノーズパッド

ヘッドセットがずれ落ちないよう、ノーズパッドで固定します。
めがねをかけたままヘッドセットを装着するときは、ノーズパッドはめがねの上から鼻に当てます。

➡「めがねの上から装着する」22 ページ

カメラ

画像や映像を取り込みます。保護フィルムを外してからお使いください。

シェード

外光の透過を抑えます。

➡「シェードの取り付け / 取り外し」23 ページ

インターフェイスボックス接続端子

インターフェイスボックスに挿し込みます。

➡「HDMI で接続する」14 ページ
➡「USB Type-C で接続する」15 ページ

イヤフォンマイク接続部

市販のイヤフォンマイクを接続できます。

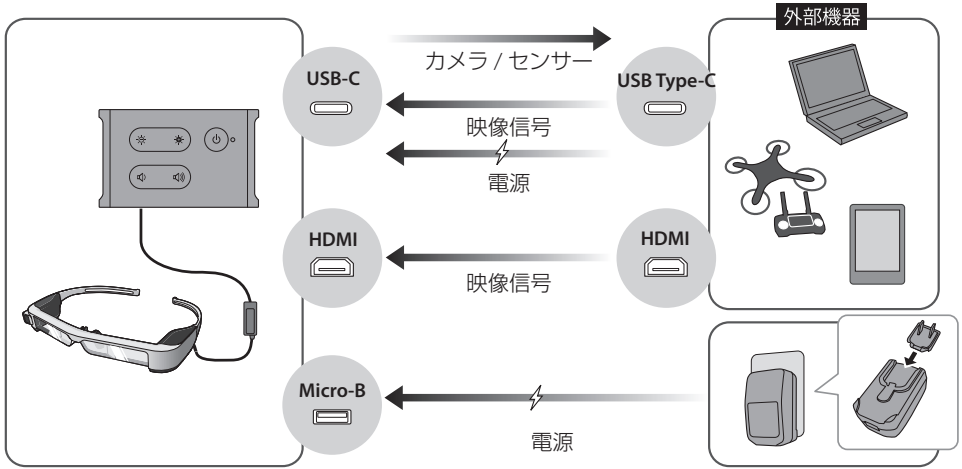
➡「ヘッドセットを装着する」21 ページ

入力と出力について

インターフェイスボックスと外部機器は、以下のデータや電源の入出力を行います。

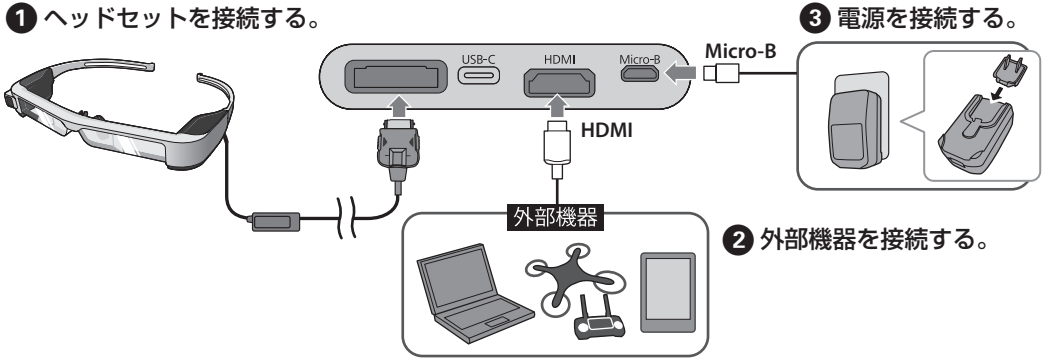
端子名	入出力
USB-C	・カメラやセンサーのデータを出力します。 ・映像信号を入力します。 ・電源を入力します。
HDMI	映像信号を入力します。
Micro-B	電源入力専用です。 （同梱の給電専用 USB ケーブルで AC アダプターと接続します）

USB Type-C ケーブル、HDMI ケーブルは同梱されていません。お客様でご用意ください。



HDMI で接続する

HDMI で接続した外部機器の映像を映すときは、以下の手順で接続します。



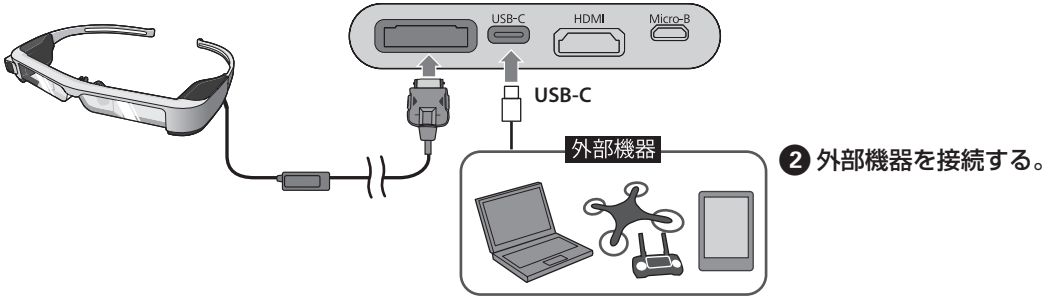
ヘッドセットのセンサーやカメラのデータを使うときは、USB-C 端子に接続します。映像信号は HDMI が優先されます。
➡「ヘッドセットのセンサーやカメラを活用するとき」16 ページ

- 必ずヘッドセットを先に接続し、その後で電源を接続してください。
- 動作状態でヘッドセットを抜き差ししないでください。
- ヘッドセットのケーブルを抜くときは、先に給電専用 USB ケーブルを抜いてください。
- HDMI は変換アダプターを経由して接続することはできません。
- 接続部分の端子の劣化を防ぐため、AC アダプターは一度組み立てたら取り外さないでください。

USB Type-C で接続する

USB Type-C で外部機器と接続すると、映像を映すだけでなくヘッドセットのセンサーやカメラのデータも使用できます。また、電源供給元としても使用できますので、USB Type-C のケーブル 1 本で、映像信号入力・センサー / カメラ出力・電源供給の 3 つを同時に行うことができます。

❶ ヘッドセットを接続する。



❷ 外部機器を接続する。

- 必ずヘッドセットを先に接続し、その後で電源供給元と接続してください。
- 動作状態でヘッドセットを抜き差ししないでください。
- ヘッドセットのケーブルを抜くときは、先に USB Type-C ケーブルを抜いてください。
- 接続機器が USB2.0/3.0 に対応している必要があります。
- USB Type-C のケーブルは USB 正規認証品を使用してください。
- USB Type-C は変換アダプターを経由して接続することはできません。

USB Type-C で映像を表示するときの注意事項

・本機は USB Type-C の DisplayPort Alternate Mode（DP Alt Mode）をサポートしています。

➡「対応機器とソフトウェアサポートについて」26 ページ

・USB Type-C を使用して映像を表示するには接続機器が USB Type-C による映像出力に対応している必要があります。
・機器によっては映像表示に対応していない場合があります。詳細は接続する機器のマニュアルでご確認ください。

USB Type-C で電源を供給するときの注意事項

・本機は USB Type-C Current@1.5A をサポートしています。
・接続機器が USB Type-C による 5V/1.5A 以上の電力供給に対応しているかご確認ください。
・接続機器から電源が供給できないときは、同梱の AC アダプターを Micro-B 端子に接続してください。
・本機は Micro-B 端子からの電源供給が優先されます。使用中に電源を切り替えると、本機は一時的に電源が切れます。センサー / カメラ機能を使用している場合は、必要に応じて接続機器の再設定を行ってください。

ヘッドセットのセンサーやカメラを活用するとき

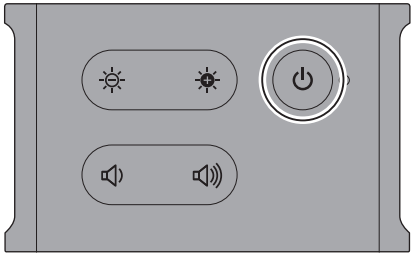
ヘッドセットに搭載されたセンサーおよびカメラからのデータは USB-C 端子から出力されます。機器によってはセンサーおよびカメラからのデータ使用に対応していない場合があります。詳細は下記でご確認ください。

➡「対応機器とソフトウェアサポートについて」26 ページ

電源を入れる / 映像を表示する

本機は、Micro-B 端子または USB-C 端子から電源を供給すると電源が入り、映像信号の入力があるときは自動的に映像が表示されます。

映像信号の入力がないときは、ディスプレイに
< No Signal >と表示されます。



映像表示中に［⏻］ボタンを押すと、映像と音声を停止することができます（AV ミュート）。

再度［⏻］ボタンを押すと、AV ミュートが解除され映像と音声が再開されます。

電源を切るときは、電源供給元との接続を解除します。

各ボタンの使い方は下記をご確認ください。

➡**「インターフェイスボックス」11 ページ**

➡**「拡張機能について」19 ページ**

- 動画を再生している場合、スタンバイモードや AV ミュート中でディスプレイが非表示の間も再生は進んでいます。動画の再生を途中で止めたいときは、外部機器を操作してください。
- 本機は充電式ではありません。電源を供給する機器との接続が必要となります。

➡**「HDMI で接続する」14 ページ**

➡**「USB Type-C で接続する」15 ページ**

スタンバイモードと AV ミュート

スタンバイモードと AV ミュートは、いずれも映像と音声を停止しますが以下のような違いがあります。

利用シーンによって、選択してください。

	設定	映像表示までの時間	消費電力
スタンバイモード	［⏻］ボタン長押し	長い（約 8 秒）	低消費電力化
AV ミュート	［⏻］ボタン短押し	短い	スタンバイモードより増える

本機は、無操作状態で 20 分間映像入力がない場合、もしくは AV ミュートを実行してから 20 分経った場合、自動的にスタンバイモードに移行します（モード 1 のときのみ）。

➡「拡張機能について」19 ページ

拡張機能について

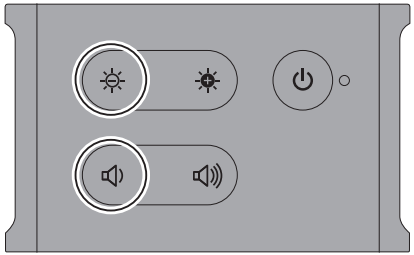
2 つのボタンを同時に長押しすると、拡張機能が使用できます。

拡張機能の状態は、ディスプレイの表示や LED インジケーターで確認することができます。

2D 表示と 3D 表示を切り替えたい

本機は、サイドバイサイド方式の 3D 表示が可能です。

2D モードと 3D モードを切り替えるには、[☼] キーと [🔉] キーを同時に長押ししてください。



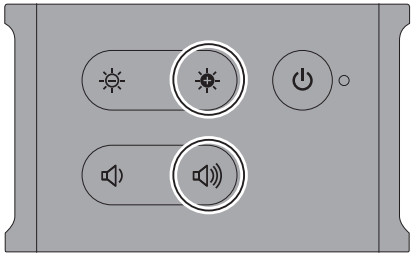
切り替え時には、ディスプレイに下記が表示されます。

2D ⟷ 3D

画面の明るさを自動調整したい

本機は、使用環境の明るさに応じて、画面の明るさを自動で調整できます。

明るさ自動調整機能の ON と OFF を切り替えるには、[☼] キーと [🔊] キーを同時に長押ししてください。

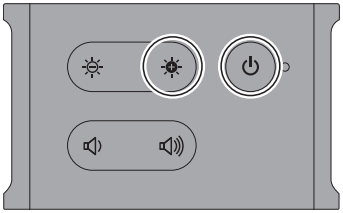


切り替え時には、ディスプレイに下記が表示されます。

☼ Auto : ON ⟷ ☼ Auto : OFF

モード設定を変更する

本機のモードは以下の 3 種類があります。モードを変更するには［☼］キーと［⏻］ボタンを同時に長押ししてください。



	パワーセーブ機能※1	［⏻］ボタン※2	モード切替時	
			LED インジケーター※3	ディスプレイ表示
モード 1（初期設定）	有効	操作可能	白色点滅 1 回	Auto :ON
モード 2	無効	操作可能	白色点滅 2 回	Auto :OFF
モード 3	無効	操作不可	白色点滅 3 回	Auto :OFF

※ 1　無操作状態で 20 分間映像入力がない場合、もしくは AV ミュートを実行してから 20 分経った場合、自動的にスタンバイモードに移行する機能です。

※ 2［⏻］ボタンは映像の表示 / 非表示を切り替えます。長押しするとスタンバイモードに移行します。

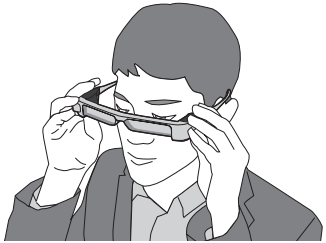
➡「スタンバイモードと AV ミュート」18 ページ

※ 3　設定直後に LED インジケーターの白色点滅の回数でモードをお知らせします。

モード 3 では［⏻］ボタンの操作が不可となっているため、常にディスプレイを表示させておきたいときに、誤操作を防ぐことができます。ディスプレイを非表示にするには電源接続の解除が必要です。

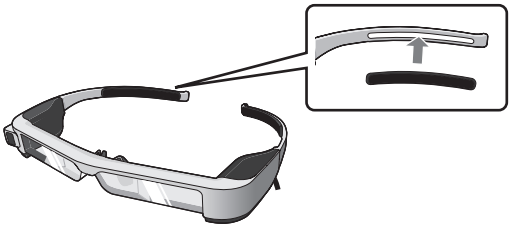
ヘッドセットを装着する

❶ ヘッドセットのテンプルを両手で開きながら、頭にかける。

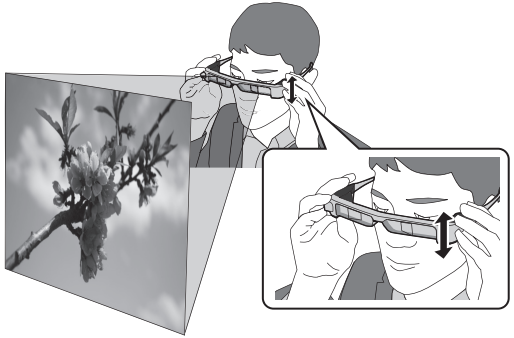


ヘッドセットに過度の力を加えて、テンプルを開かないでください。

ヘッドセットの装着感が弱いときは、同梱のテンプルラバーを取り付けてください。



❷ 映像が見えるよう、ヘッドセットの位置を調整する。



- 画面の明るさは［ ☼ / ☼ ］キーで調整できます。
  ➡「インターフェイスボックス」11 ページ
- 映像の見え方には個人差があります。
- イヤフォンマイク接続部には、イヤフォンマイクを接続できます。
  CTIA 規格に対応したイヤフォンをお使いください。
  イヤフォンを耳に装着した状態で、イヤフォンマイクや各種ケーブルを抜き差しすると、ノイズが聞こえることがあります。

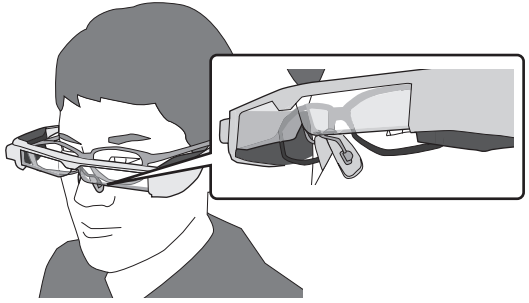
イヤフォンマイク接続部はクリップで衣服に固定できます。

- 本機を装着するときは、ケーブルが周囲のものに引っかからないようにしてください。また、ケーブルが首に巻きつかないようにしてください。
- 下向きの作業で使用するなど、ヘッドセットが顔から外れやすい環境で使用する場合は、外れ防止のため市販のメガネバンド等をご使用ください。

めがねの上から装着する

めがねをかけた上からでもヘッドセットを装着できます。(幅が約147mmまでのめがねをお使いの場合のみ。)

- 装着時にヘッドセットのレンズやめがねに傷がつかないようにご注意ください。
- お使いのめがねの形状によっては、めがねの上からヘッドセットを装着できないことがあります。



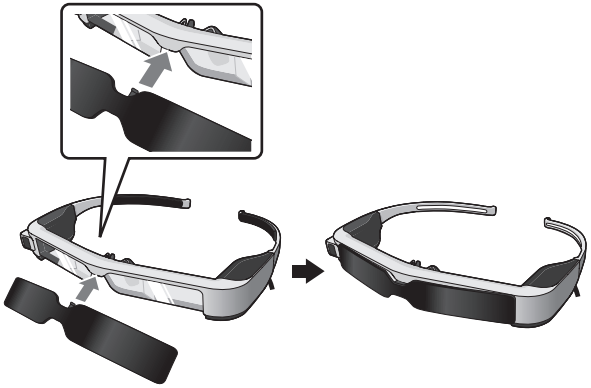
ノーズパッドはめがねの上から鼻に当てます。

シェードの取り付け / 取り外し

ヘッドセットを装着しているときに視界が明るくて画面が見づらいときは、シェードを取り付けてお使いください。

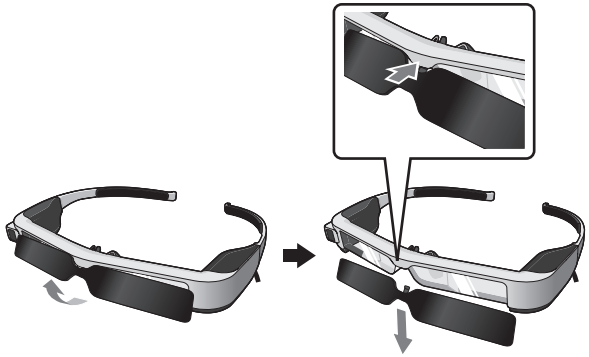
シェードの取り付け

シェードを斜めにして、上部の突起をヘッドセット中央の差込口に合わせ、カチッと音がするまでヘッドセットに押し込みます。



シェードの取り外し

シェードの下側を手前に引き、シェードの中央部分を押しながら下方向にゆっくりと引っ張って取り外します。



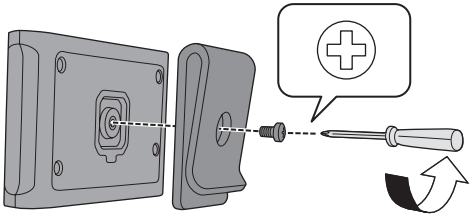
シェードを強く引っ張ったり押し込んだりすると、シェードが破損したり、レンズに傷がついたりするおそれがあります。シェードに過度の力を加えないでください。

ベルトクリップ / ケーブルリテーナーの使い方

ベルトクリップやケーブルリテーナーを使うと、インターフェイスボックスをベルトに取り付けることができます。

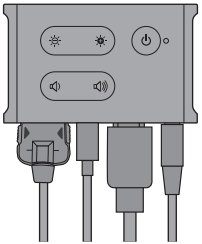
また、ケーブルリテーナーを使うと、市販の結束バンド等を使って余分なケーブルを留めることができます。

❶ 同梱のネジを使って、ベルトクリップをインターフェイスボックスに取り付ける。

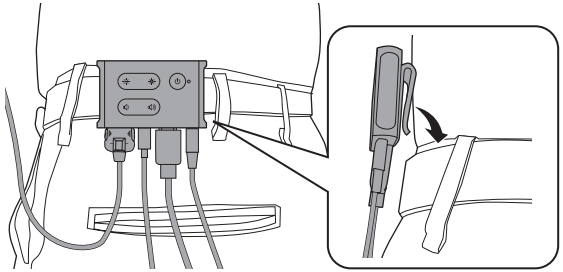


ベルトクリップの取り付け方向を変更すると、インターフェイスボックスを 90 度回転させて取り付けることもできます。

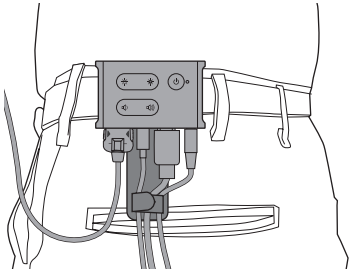
❷ ケーブルを接続する。



❸ クリップを、ベルトなどに取り付ける。



ケーブルリテーナーも同様の手順でベルトに取り付けます。余分なケーブルが周囲のものに引っかからないように市販の結束バンド等で束ねることができます。



⚠ 注意

- ケーブルは、可能な限り体に密着させてください。ケーブルがたるんでいると、引っかけや巻き込みにより事故やけがの原因となります。
- ヘッドセットのケーブルは引っ張らないでください。ヘッドセットが外れ事故やけがの原因となります。
- ベルトクリップ・ケーブルリテーナーはベルトを挟む構造のため、着脱時にベルト表面に傷がつく場合があります。革製ベルトや光沢のあるベルトへの装着は控えていただくか、ベルトとの接触部に薄い布などを入れ、保護してお使いください。

対応機器とソフトウェアサポートについて

映像表示

HDMI® 表示	対応機器	HDMI ポートを標準搭載する映像出力機器
	解像度（フレームレート）	1920x1080（60Hz/59.94Hz）、1280x720（60Hz/59.94Hz）、1280x720（30Hz）、640x480（60Hz）
DisplayPort 表示	対応機器	USB Type-C ポートを標準搭載し、DisplayPort Alternate Mode on USB Type-C に対応したパソコン・スマートデバイス ※1
	解像度（フレームレート）	1920x1080（60Hz/59.94Hz）、1280x720（60Hz/59.94Hz）、1280x720（30Hz）、640x480（60Hz）

※ 1　HDMI data transfer はサポートしません。

上記以外の解像度の場合、映像が正しく表示されないことがあります。

センサー、カメラ

対応機器	USB Type-C ポートを標準搭載するパソコン・スマートデバイス
対応 OS	Windows 10、Android™ OS Ver7.0 以降

ヘッドセットのセンサーやカメラを使用するときは、接続する外部機器にセンサーやカメラに対応したアプリケーションをインストールする必要があります。

本機のカメラ機能は UVC1.1 に対応しています。

ソフトウェアサポート

アプリケーションからセンサー、カメラ、ディスプレイを制御するには、専用の SDK が必要です。

詳しくはデベロッパーズガイド（https://tech.moverio.epson.com/ja/bt-35e/document.html）をご参照ください。

※ BT-30E と BT-35E の SDK は共通です。

ファームウェアのアップデート

以下のダウンロードサイトから、ファームウェアをパソコンにダウンロードし、Epson BT-35E Update Tool を使って、アップデートします。

詳細は、ファームウェアリリースノートをご参照ください。

https://tech.moverio.epson.com/ja/bt-35e/download.html

※ BT-30E と BT-35E のファームウェアは共通です。

メンテナンス

ヘッドセットの掃除

- 映像に汚れが見えたり、映像がくもって見えたりするときは、レンズにほこりや指紋などの汚れが付いていないか確認します。
  レンズにほこりや汚れが付いたときは、柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

  レンズを拭くときは、レンズクリーニング液や有機溶剤などの液体を使用しないでください。
- カメラに汚れが付いているときは、乾いた柔らかい布でやさしく拭き取ってください。
- 本体が汚れたときは、ウェットティッシュ等で汚れを拭き取ってください。

ヘッドセットの保管

- 本機を保管するときは、本機が入っていた箱や専用のキャリングケースに入れて保管してください。
- ヘッドセットを置くときは、レンズが硬いものと接触しないように水平に置いてください。レンズを下向きに置いたり、硬いものと接触したりすると、レンズが傷つくおそれがあります。

接続端子の掃除

- インターフェイスボックスの接続端子に汚れや異物があると、正常に動作しないことがあります。定期的に（3 ヶ月に 1 回程度）乾いた布や綿棒で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- 指や硬いもので、接続端子に傷をつけないでください。
- 接続端子を水にさらさないでください。接続端子を掃除するときは、乾いた布や綿棒を使用してください。

困ったときに

故障かな？と思ったときは、下記をご確認ください。

映像が映らない

- ケーブルが抜けていないか確認してください。
- LED インジケーターが 3 秒以上オレンジ点滅を繰り返す場合には、エラー状態になっています。

  ➡「各部の名称と働き」11 ページ

  電源を供給している給電専用 USB ケーブルや USB Type-C ケーブルを抜いて、しばらく置いてから接続し直してください。
- USB Type-C 接続によって映像が表示されないときは、お使いの接続機器が USB Type-C による映像出力に対応しているかご確認ください。本機は USB Type-C の DisplayPort Alternate Mode「DP Alt Mode」をサポートしています。

映像が乱れる

- 接続端子を挿し直してください。
- 接続機器を再起動してください。

［⏻］ボタンを押してもディスプレイが非表示にならない

拡張機能の設定でモード 3 に設定されている可能性があります。［☼］キーと［⏻］ボタンを同時に長押しして、モード 1 またはモード 2 にしてください。

➡「拡張機能について」19 ページ

音声が聞こえない

- イヤフォンが確実に挿入されていることを確認します。
- 音量が適切か確認します。
- 出力機器側で音声が出力されているか確認します。
- スイッチ付イヤフォンマイクやイヤフォンマイクの種類によっては、使用できない場合があります。

画面の明るさが調整できない

- 本機の温度が上昇したとき、製品保護のため画面の明るさが制限されることがあります。
  ［☼/☼］キーを押すと、制限されているかどうか確認できます。

通常時	制限されている時
☼ 10	☼ 10

仕様一覧

製品仕様

型番		BT-30E（H935A）
方式		Si-OLED
パネルサイズ		0.43 型ワイドパネル（16 : 9）
解像度		1280x720
画角		約 23 度（対角）
仮想画面サイズ		40 型相当（仮想視聴距離 2.5 m時）
色再現性		24bit カラー（約 1677 万色）
3D 対応		サイドバイサイド方式
接続端子		インターフェイスボックス接続端子、4 極ミニジャック（ イヤフォンマイク CTIA 規格対応 ）※1、USB Type-C、HDMI、USB Micro-B（給電専用）
動作温度		5 ～ 35℃　湿度 20%～ 80%（結露しないこと）
保存温度		-10 ～ 60℃　湿度 10%～ 90%（結露しないこと）
AC アダプター	定格出力電圧 / 電流	5V/2A
外形寸法（W x D x H）	ヘッドセット	191 x 178 x 25 mm（シェード除く）
	インターフェイスボックス	85 x 52 x 15 mm
質量	ヘッドセット	約 69 g（シェード・ケーブル除く）
	インターフェイスボックス	約 45 g
カメラ		500 万画素（パンフォーカス）
イヤフォン出力		最大電圧 150mV 以下 広帯域特性電圧 75mV 以上
センサー		地磁気センサー / 加速度センサー / ジャイロセンサー / 照度センサー

※ 1　適合プラグご使用時も、動作の一部に制限が発生することがあります。

映像入力

HDMI（Type A）	HDMI	Ver. 1.4
	解像度（フレームレート）	1920x1080（60Hz/59.94Hz）、1280x720（60Hz/59.94Hz）、1280x720（30Hz）、640x480（60Hz）
	EDID	対応
	CEC	非対応
	HDCP	Rev. 1.4
	3D フォーマット	非対応
	HDMI Data Transfer	非対応
USB Type-C	ビデオインターフェイス	DisplayPort Alternate Mode (DP Alt Mode)
	解像度（フレームレート）	1920x1080（60Hz/59.94Hz）、1280x720（60Hz/59.94Hz）、1280x720（30Hz）、640x480（60Hz）
	EDID	対応
	HDCP	Rev. 1.3

電源

インターフェイス	USB Type-C	USB Type-C Current@1.5A
	USB Micro-B	5.0 V/1.5 A（DC 入力）
消費電力		定格消費電力：約 6.5W 待機時消費電力（通信オン）：2.0 W 待機時消費電力（通信オフ）：0.3 W

知的財産権について

表記について　本書中では、Microsoft® Windows® 10 operating system を「Windows 10」と表記しています。

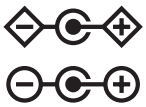
商標について　「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
HDMI と High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
USB Type-C™ は、USB Implementers Forum の商標です。
Android™ は Google LLC. の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

一般のご注意

国内使用について	日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。 国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。
使用限定について	本機は販売国の仕様に基づき製造されています。本機を販売国以外で使用する場合は最寄りのサポート窓口で確認をしてください。 本機を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。 本機は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本機の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。
JIS C 61000-3-2 適合品	本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。
認証情報	Japan

安全規格対応シンボルマークと説明

製品上に以下のシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	意味
❶		IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
❷		IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
❸		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
❹		ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
❺		IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
❻		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
❼		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
❽		IEC60417 No.5017	アース 接地（アース）端子であることを示す。
❾		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
❿		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
⓫		IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1 でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
⓬		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	意味
⑬		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
⑭		IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。

ご相談窓口

●エプソンのウェブサイト　epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとして掲載しております。ぜひご活用ください。

epson.jp/faq/

●製品に関するご質問・ご相談先（プロジェクターインフォメーションセンター）

製品の操作方法・お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　　在　　地	電 話 番 号
札幌修理センター	〒003-0021　札幌市白石区栄通4-2-7　エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863　松本市白板2-4-14　エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121　鳥取市南栄町26-1　エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　ウイングビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのウェブサイト　epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660　・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのウェブサイト　epson.jp/support/ でご確認ください。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンサービスコールセンター）

050-3155-8600

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●ショールーム　＊詳細はウェブサイト epson.jp/showroom/ でもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階

【開館時間】月曜日～金曜日　10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

※ご来館・デモルームのご使用には予約が必要となります。（完全予約制）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	**myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp/support/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8801　東京都新宿区新宿四丁目1番6号　JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和三丁目3番5号

液晶プロジェクター（B）　2018.04